記者発表資料

平成２６年１２月１５日
国土交通省　東北地方整備局
仙台河川国道事務所

女子高生ドボジョ がインターンシップ

～土木科女子高校生が復興現場でインターンシップ～

復興の戦力として期待される工業高校の土木科に在籍する女子生徒2名が、復興工事現場などを舞台に、インターンシップに挑戦することになりました。 仙台河川国道事務所では、高校生を対象にインターンシップで受け入れるのは今年で2年目になります。

昨年の受講した高校生の中には、既に土木系の技術職員として就職が決まった生徒もいます。

■　日　　時　　平成26年12月18日(木)　14:00～(2時間程度)

■　場　　所　　河北IC出口付近(石巻市小船越二子南中 地内)…14:00集合
…別添図参照

□ 取材対象工事現場　…集合場所よりご案内します。

① 三陸自動車道　新天王橋上部工工事
② 国道45号　天王橋下部工復旧工事
〃　小船越地区橋梁下部工工事

■　参加生徒　　仙台市立仙台工業高等学校 土木科2年　2名(女子2名)

■　実施概要　　測量器具や機器を使った工事施工確認作業など

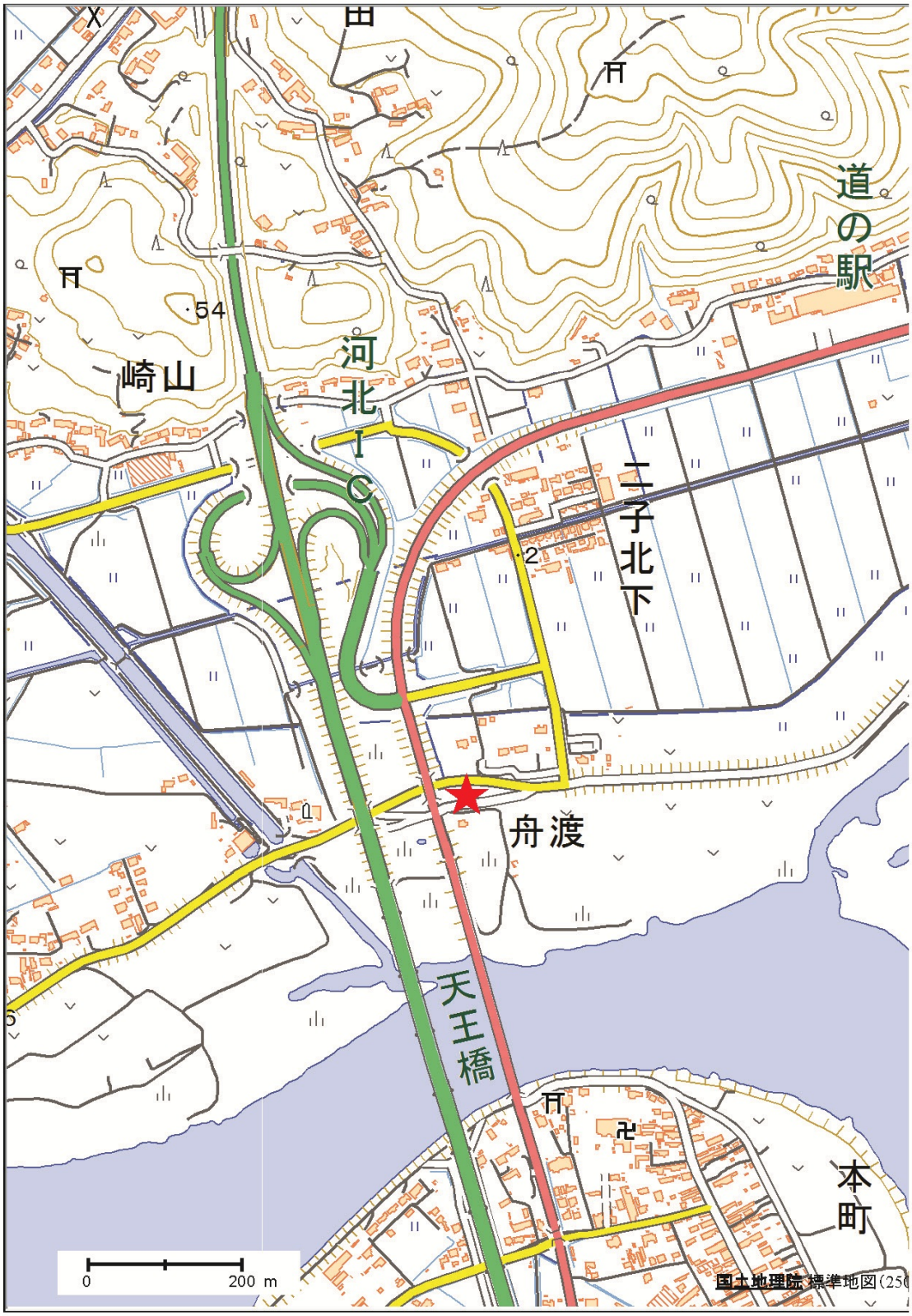
＜ 発表記者会 ： 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ ＞

お問い合わせ

■ インターンシップの実施内容についてはこちら
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
TEL　０２２－３０４－１９０２
計画課長　熱海(あつみ)　裕章(ひろあき)

■ インターンシップを含む教育活動の取り組みについてはこちら
仙台市立仙台工業高等学校
TEL　０２２－２３７－５３４１
土木科長　髙橋(たかはし)　拓栄(たくえい)

待ち合わせ場所　案内図



国道45号 天王橋　橋梁耐震化に伴う架替えについて

■ 事業概要

昭和34年に架橋した天王橋は、竣工後55年が経過し部材損傷が著しく、かつ車道幅員も6.0mと狭小なため、大型車のスムーズな通行ができない状況です。

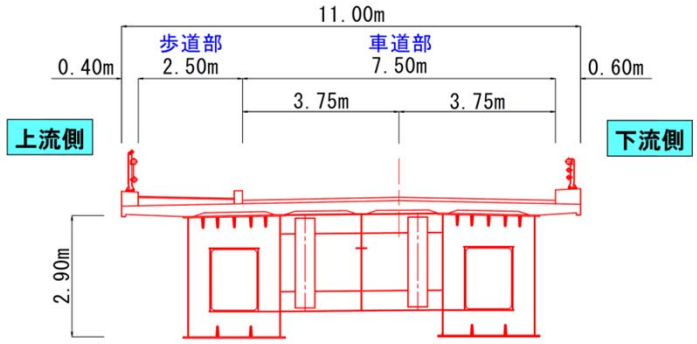
また、東北地方太平洋沖地震においても橋桁に損傷を受けており、今後の大規模地震を見据えた本格的な耐震化が必要となったため、架替えを進めています。



▲ 国道45号 天王橋の架替え



▲ 大型車両同士の通行状況



▲ 橋梁断面図

■ 整備効果

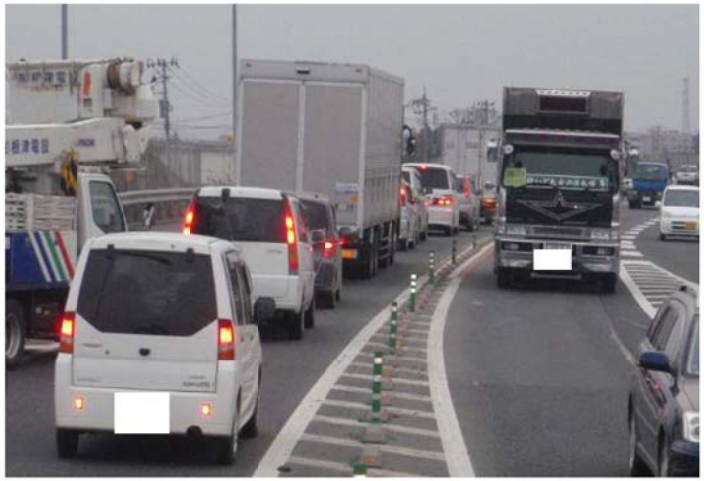
天王橋の架替えにより、スムーズな通行が確保され、被災地の早期復興に寄与します。

矢本石巻道路の事業概要について

■事業概要

三陸沿岸道路（矢本石巻道路）は、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路であり、東日本大震災における被災地の復興を支援するとともに、交通混雑の解消を目的に4車線化する事業です。





▲矢本石巻道路の混雑状況



▲矢本石巻道路（新天王橋）の４車線化工事状況

■整備効果

・東日本大震災の早期復興に寄与します。

・交通混雑が課題となっており、4車線化することで交通混雑緩和が期待されます。